

慢性疾患のこどもと新型コロナウイルス感染症

埼玉医科大学総合医療センター 是松聖悟.

大人に比べ、こどもは新型コロナウイルス感染症にかかりにくいこと、かかっても重症化しにくいことがわかっています。しかし、こどもでも慢性の病気を持っている場合は重症化するのでは？との懸念があるかと思えます。確かに、新型コロナウイルス感染症にかかった場合、「慢性の肺や神経や筋肉の病気を持つこどもは重症化する傾向がある」、「重症心身障がい児は重症化する傾向がある」、「集中治療を受けるリスクのあるこどもの慢性疾患は早産児、呼吸器疾患、心疾患、肥満である」、との論文が報告され、少しずつその傾向が明らかになってきました。

こども、特に障がいがあるこどもは、上手に手を洗えません、正しくマスクができません。しかし、こどものほとんどが家族など大人からの感染です。大人がこどもに感染させないことが大切です。そのため、基本的でかつ間違いやすい感染予防策をクイズで学んでもらう予定です。また、喫煙は新型コロナウイルス感染症の重症化リスクと言われてはいますが、受動喫煙はこどもの呼吸器に悪影響を及ぼしますのでこどもを受動喫煙から守ってください。

さて、ぜんそく、心疾患、リウマチ性疾患など、定期薬を使っているこどもは治療を中断することなく、しっかり継続してもらいたいと思います。普段から体調を整えておくことが大切です。そして慢性の病気を持っているこどもへの予防接種は意義があると考えていますが、安全に接種できるよう、注意点もお話いたします。

略歴

平成 3年4月	大分医科大学 小児科学講座 以後、大分医科大学附属病院とその関連病院で研修
平成 6年1月	大分医科大学 小児科 助手
平成 9年4月	NTT九州病院 アレルギー科
平成 10年4月	京都大学大学院医学研究科 免疫細胞生物学 研究生
平成 12年2月	山香町立国保総合病院 小児科 部長
平成 13年4月	大分医科大学 小児科 助手
平成 19年8月	大分大学医学部 小児科学 准教授
平成 20年4月	大分大学医学部 地域医療・小児科分野 教授
平成 29年4月	大分大学 客員教授、中津市立中津市民病院 副院長
令和 3年4月	埼玉医科大学総合医療センター 小児科教授

所属学会

- 日本小児科学会（小児科専門医・指導医、小児医療委員会委員長）
- 日本小児保健学会
- 日本アレルギー学会（アレルギー専門医・指導医）
- 日本小児アレルギー学会（理事）
- 日本小児神経学会（小児神経専門医・指導医、代議員、医療安全委員会委員長）
- 日本小児感染症学会（小児感染症認定医）
- 日本リウマチ学会
- 日本小児リウマチ学会
- 日本医療マネジメント学会